

灯油配送最適化へ勉強会

燃料費節減^{など}導入事例報告

ゼロスペック スマートオイルセンサー

灯油タンクの残量を遠隔で管理し、配送を最適化するスマートオイルセンサーの勉強会が、先ごろ金沢市内で開催された。システムを開発、販売するゼロスペック（札幌市）の主催で、石川、富山県のSS関係者ら約20人が参加した。



①神部長が参加者を前に説明した②大城エネルギー上玉利さん③金沢丸善竹内さん

ていたが、データに基づいて配送計画が立てられるようになった。不要な配送が減り、燃料費節減などにも役立っている」。竹内さんも「担当者のシフトに合わせた配送が可能になり、日ごとの件数の偏りが改善した。残量の見える化により、担当者・顧客双方の油切れによるストレスが緩和された」と述べた。

引き続き質疑が行われ、参加者から配達の目安となるタンク残量などについての質問が出た。神部長は配達先の希望に応じタンクごとに設定できると述べ、デモ画面を用いて操作方法をわかりやすく説明した。

昨年、札幌で開催したIoT配送合理化会議・ユーザー交流会が好評だったことを受け、初めて道外で企画した。同社の神大地エンタープライズセールス部長は「2020年に開始したサービスは46都道府県約300社に広がり、設置数は9万台に達した。灯油配送事業者の多くが人手難や車両老朽化などの課題を抱えており、配送支援の必要性を強く感じている」と述べた。

この後、導入事業者を代表して、大城エネルギー

（能美市、ENEOS系）の上玉利勲さんと、金沢丸善（金沢市、コスモ系）の竹内博紀さんが、導入までの経緯や導入後の効果などについて報告した。

上玉利さんは「以前は担当者の経験と勘に頼っ

年度補正予算のSS強化支援事業補助金の対象で、購入費用の最大3分の2が補助される。勉強会では補助金申請のスケジュールなどについても説明があった。